

# 視察研修

本市議会では、平成十九年十一月十五、十六日の二日間、今後のまちづくりを生かすため、千葉県と東京都で視察研修を行った。

## 千葉県鴨川市

房総半島の南東部に位置し、気候は温暖で農林水産業と観光の街である。

調査した事業は次のとおりである。

### 一、幼保一元化推進事業

平成十七年の合併の際「新市まちづくり計画」から市の「総合計画」で幼稚園教育が位置づけられた。その後、学校適正化規模検討委員会等で審議、幼保一元化推進の答申に基づいて、平成十八年から十九年度に一地区で試行運営し、二十年度から、

順次、本格運営の見込みとなっている。同市にある幼稚園十二、保育園十二がすべて市立であることもあって、一元化に移行しやすい環境にある。少子化対策と子育て支援の充実等を図るための事業である。



築地市場

### 二、鴨川ふる里帰郷センター事業

都市生活者を中心に健康で、安らぎのある生活を求め、新たなふる里への帰郷運動が高まったことから、平成八年度、行政と地域住民が一体となって、都市との交流拠点を立ち上げた。「大山千枚田」

等に多くの都市市民が訪れ、体験型観光への期待が高まった。平成十六年四月、多様なニーズに応え、農業指導や、田舎暮らしを求める人を支援するためふるさと帰郷センターが設立された。

## 築地市場

県園芸連東京事務所

の案内で、場内を視察。本市の基幹品目である「ヤッコネギ」「ユズ」は、市場評価も高く、他産地に比べ有利販売されている。

視察後、本市を含め

高知県の主な取引会社との意見交換を行った。荷受会社は、順不同で、東京シテイ青果・東京青果・東京新宿ベジフル・横浜丸中青果・豊島青果板橋支社・東京促成青果で、意見・提

- ① 品質面や安全・安心からコールドチェーン化（市場内含め）が進む。
- ② セリ売りが減少し、相対取引が増加（セリは二〇％以下）。
- ③ 輸入農産物、特に中国産は安全面から減少。
- ④ 高知県の自主検査は評価している。
- ⑤ 農水省から流通経費を二〇％削減するよう求められている。
- ⑥ 市場手数料が自由化されるが、開設者との協議（方針）は、まだ済んでいない。
- ⑦ 所得格差等から安い農産物に手を出す傾向もあるが、安全・安心とブランド化を図り安定供給を望む。
- ⑧ 前回の市長、今回の議員視察を評価している。今後、後継者不足等も含め販売促進に対する行政の役割は大きい。特に、販促活動への助成等支援策を。

県選出国會議員への陳情  
市議団を四班に分け、本市の政策課題四事案について陳情した。

- 一、過疎地域自立促進特別措置法の効力の期限延長
- 二、道路特定財源の確保と地方の道路整備事業の推進
- 三、一級河川・物部川の濁水問題の改善
- 四、有害鳥獣対策の抜本強化



# Photography

輝き・やすらぎ・賑わい



## 編集後記

平成二十年という新しい年を迎え、気持ちも新たに初詣に出かけた。ふと、子どもの頃の正月の風景がよみがえってきた。元日の朝、外に出ると一面の雪、雪遊びが一段落したら親子で凧あげだ。これが子どもの頃の正月だった。

今、雪はないし氷も張らない。(温暖化は着実に進行している)通りすがりの子ども達は、手にコンパクトなゲーム機を持ち、あちこちでゲームに興じている。「昔はそんなゲーム機などなかったし、インターネットもなかったけど、十分楽しかったなあ」と思いながら神社に着くと参拝客が携帯電話で忙

しくメールを打っている。「携帯電話は確かに便利だけど、メールで明けておめでとうは少し淋しい」と感じながら家路について気がつく。「そうだ、今年こそ早めの花粉症対策をしなければ」そういえば花粉症も子どもの頃にはなかったなあ。

